

感謝！！



### ベルリン中心部 「鷗外」巨大墨書

【ベルリン】能登智彦「ドイツの首都ベルリン中心部にある森鷗外記念館の外壁に「鷗外」の巨大な文字が描かれ、人目を引いている」写真、能登智彦。縦5頁、横3・6頁。開館20周年と建

物の全面改装を記念して描かれた。街の景観を重視するドイツでは巨大広告や看板が規制されることがあるが、ベルリン市は「異文化を受け入れ、国際交流を続けてきた街の歴史にも合う」として承認した。作家で医師の森鷗外（1862～1922）は

1884年から約4年間のドイツ留学中、この建物に一時下宿した。直筆の手紙などゆかりの品々を展示している。

地元フンボルト大学日本文化研究センターが昨年10月の開館20周年に合わせて墨書を募り、埼玉県に住む吉見松香さん（60）の作品を選んだ。

朝日新聞 朝刊

国際面（六頁）に掲載さんぽりさん

二〇〇五年（平成十七年）

七月十四日（木）

吉見 翠

# ベルリンに巨大「鷗外」

# 日独懸け橋

Überbrückung zwischen Japan und Deutschland



感謝

!!

ドイツの首都、ベルリン中し、この建物に一時下宿し元小学校校長、吉見松香さん  
 央部にある森鷗外記念館の外壁に、**「鷗外」**という巨大な  
 二文字が描かれ、市民の関心を呼んでいる。開館二十周年に  
 合わせて募った墨書の一つを再現したもので、開館の認知度を高めるのに一役買  
 うだ。

「舞姫」などの作品で知られる文豪、森鷗外（一八六二—一九二二）は一八八四年から四年に鷗外の業績をたたえて記念館を開館し、直筆の書簡などを展示している。

今年から記念館の外壁にあらわれた巨大文字は、縦約五メートル、横三・六メートルの枠に囲われている。昨年十月の開館二十周年を記念して募った九歳から九十二歳までの墨書約百三十点のうち、「建物の景観に良く合う」として、埼玉県のも

（ベルリン 黒沢潤、写真）

二〇〇五年（平成十七年）

産経新聞朝刊

七月二十一日（木）

国際面に掲載され

ました。